

製品名: ROS1 (リン酸化 Tyr2274) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab05380**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000, ICC/IF 1:50-1:200
分子量	258kDa

抗原情報

遺伝子名	ROS1
別名	Proto-oncogene tyrosine-protein kinase ROS (EC 2.7.10.1) (Proto-oncogene c-Ros) (Proto-oncogene c-Ros-1) (Receptor tyrosine kinase c-ros oncogene 1) (c-Ros receptor tyrosine kinase)
遺伝子 ID	6098.0
SwissProt ID	P08922
免疫原	ヒト ROS1 (Tyr2274) 周辺の合成リン酸化ペプチド

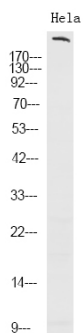
背景

このプロトオンコゲンは、様々な腫瘍細胞株で高発現しており、チロシンキナーゼインスリン受容体遺伝子のセブンレスサブファミリーに属します。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、チロシンキナーゼ活性を有するI型膜タンパク質です。このタンパク質は、成長因子受容体または分化因子受容体として機能する可能性があります。[RefSeq 提供、2008年7月]触媒活性: ATP + a [タンパク質]-L-チロシン = ADP + a [タンパク質]-L-チロシリン酸。疾患: 多形性神経膠芽腫 (GBM) において、ROS1に関連する染色体異常が認められます。染色体 6q21 のホモ接合欠失により、恒常的な受容体チロシンキナーゼ活性を有する GOPC-ROS1 キメラタンパク質が発現する。機能: これはおそらく、チロシンタンパク質キナーゼ活性を有する細胞増殖因子または分化因子受容体である。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属する。チロシンタンパク質キナーゼファミリー。インスリン受容体サブファミリー。類似性: 1つのタンパク質キナーゼドメインを含む。類似性: 9つのフィブロネクチンIII型ドメインを含む。

研究分野

-

画像データ



HeLa のウェスタンブロット分析。一次抗体は 1:1000 希釈で 4°C、一晩。二次抗体は 1:10000 希釈で 25°C、1.5 時間。